

福井麦栽培情報

福井県産【大麦・小麦】の
収量アップを目指して！！

JA福井県
No.2

(小麦：福井県大3号)

● 碎土率の向上で除草効果アップと適期播種で収量アップ！

令和7年産小麦の収量は、平均単収239kg/10aで6年産が低迷したものの5年産並みとなりました。この結果は、排水対策の徹底と播種時期の好天により発芽率が向上したことが大きな要因です。令和8年産においては、7年産を上回る収量を得る為にも、天気予報を確認しながら排水対策の実施と適期播種作業に努めましょう。

1. 播種のポイント

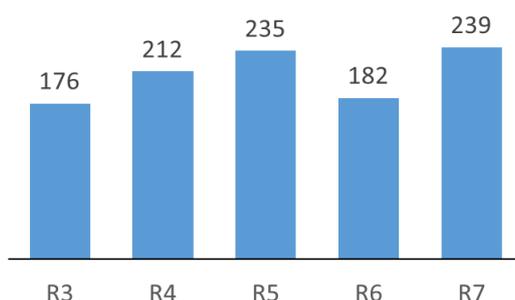
播種目安は10月10～30日までです。(特に山間部は10月10日頃から播種を開始し、発芽率の安定化を図る)播種が早いと病害の影響を受けやすく、遅いと茎数不足による収量低下などにつながります。

① 排水

麦類は土壤湿害を受けやすく被害を出さないためにも、土壤がよく乾いた状態で播種できるよう、排水対策が重要です。

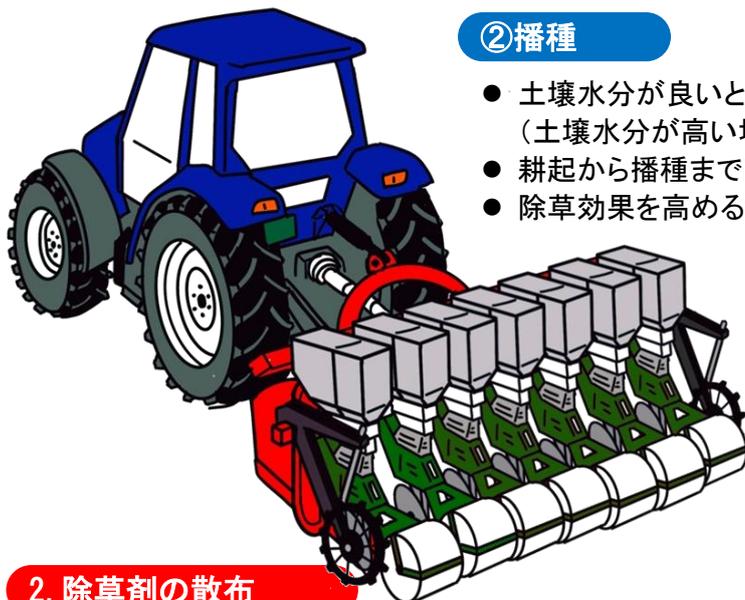
- 圃場の排水性に合った対策。(排水路や排水口への接続)
- 播種作業で崩れた排水溝は直ぐに手直し。

小麦単収の推移(kg/10a)



② 播種

- 土壤水分が良いときに播種。(土壤水分が高い場合は散播も検討する)
- 耕起から播種までは1日で作業を完了させる。
- 除草効果を高めるため、耕起は丁寧に碎土率を上げる。



- 播種適期：10月10～30日
(特に山間部が10月10日頃から播種開始)
- 播種量：7～10kg/10a

2. 除草剤の散布

播種後から雑草発生前までに除草剤を適期に散布しましょう。

- 碎土率を高くして除草効果を高める。
- 液剤使用の場合は播種直後の処理が効果が高い。
- 粒剤使用の場合は土壤が乾燥していると効果が低くなる。

区分	薬剤名	使用量(/10a)	使用時期	使用回数
細粒剤	キックボクサー細粒剤F	3～4kg	播種後出芽前(雑草発生前)	1回以内
	ハーモニー細粒剤F	4～5kg	播種後麦3葉期(雑草発生前)	
粒剤	リベレーターG	4～5kg	播種後麦2葉期(雑草発生前)	
	ムギレンジャー乳剤	300～600ml	播種後出芽前(雑草発生前)	
フロアブル	ボクサー	400～500ml	播種後小麦4葉期(雑草発生前)	
	水和剤	リベレーターフロアブル	60～80ml	播種後麦3葉期(雑草発生前)
	ハーモニー75DF水和剤	5～10g	播種後～	